

- 自由記入欄については、全部で73件ありました。
以下一部抜粋でお伝えいたします。

①要望や現状(課題)の記述を「キーワード(事柄・内容)」のみご紹介いたします。

子供の遊び場 移動手段 移動スーパー 買い物弱者 ごみの野焼き 近所迷惑
情報発信(回覧板禁止) 商業施設 下水道の完備 仕事 草刈りなど高齢者対策
防災無線聞こえない 小児科 企業誘致 住宅&アパート 農地の自由化

②要望や現状(課題)に他に、詳しい提案もありました。

- ・高齢者の集まる機会を作っていただくと思ふ
- ・子供から高齢者まで楽しめるようなイベント
- ・手作りマルシェの土日祝日の開催イベント
- ・生活への新しい情報の発信
- ・テニスコートを開放してほしい
- ・子供と参加できるヨガ教室
- ・グラウンド、サッカー場、体育館などの使用については各行政区の使用枠を増やしてほしい
- ・同年代集会など月1回歌会、会食会などの開催
- ・図書コーナーを充実させ、本の読み聞かせ、読書で子供が集う場所づくり
- ・サロン風な場所の提供
- ・長期休み中の勉強会の開催
- ・トレーニングルームの設置
- ・税金や年金についての勉強会(土日開催)
- ・古着交換会や食器交換会
- ・若者が参加できるイベント
- ・明るい終活セミナー
- ・婚活イベントを開催したらどうか
- ・若者メインの祝う会の設定
- ・小学校と合同開催の運動会
- ・ミュージカルやコンサートなど子供たちの夢のお手伝いになるようなものを開催
- ・もっこりニラを使った料理、みなみかた牛を使った料理アイデア大会の開催
- ・小学校と地域行事の融合
- ・ホームページや防災ラジオの活用



この度は、アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
今後とも、西郷地区コミュニティ推進協議会へのご理解とご協力を、よろしくおねがい
申し上げます。



令和2年3月31日
西郷地区コミュニティ推進協議会
事務局:西郷公民館



西郷地区 地域づくりアンケート 実施結果について



1. アンケート調査の目的

西郷地区では、平成27年(2015年)4月に地域づくり計画を策定し
来年で5年になる。ここにおいて、より一層の効果的な活動を目指し
幅広く地域住民の意見を集め地域づくり計画の内容に反映するべく
中学生以上の全住民アンケートを実施することとした。
集めた結果データにより、地域住民で共有し、行動につなげることを
目的とする。

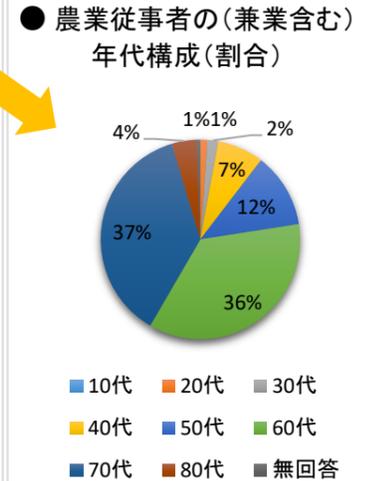
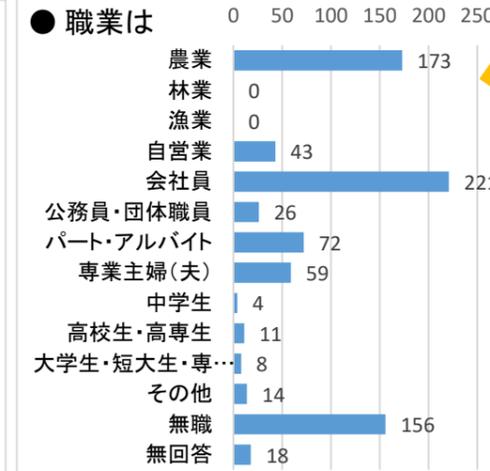
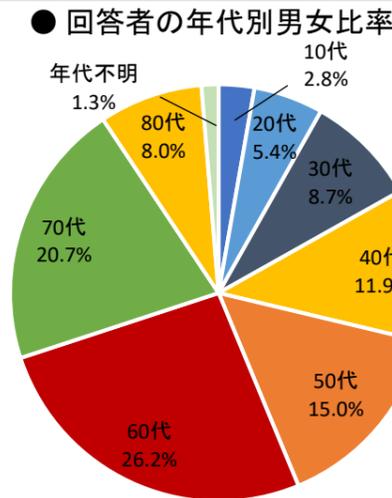
2. 調査の方法

- ◆調査依頼数 2,124件(708世帯3部ずつ)
- ◆有効回答数 706件
- ◆調査対象 西郷地域の全世帯(中学生以上)
- ◆回収率 33.2%
- ◆調査期間 令和元年8月8日~8月31日

3. 調査項目

- ・あなた自身のことについて
- ・あなたのお考えについて
- ・その他自由意見

4. アンケート調査の結果



農業従事者の77%が60代以上

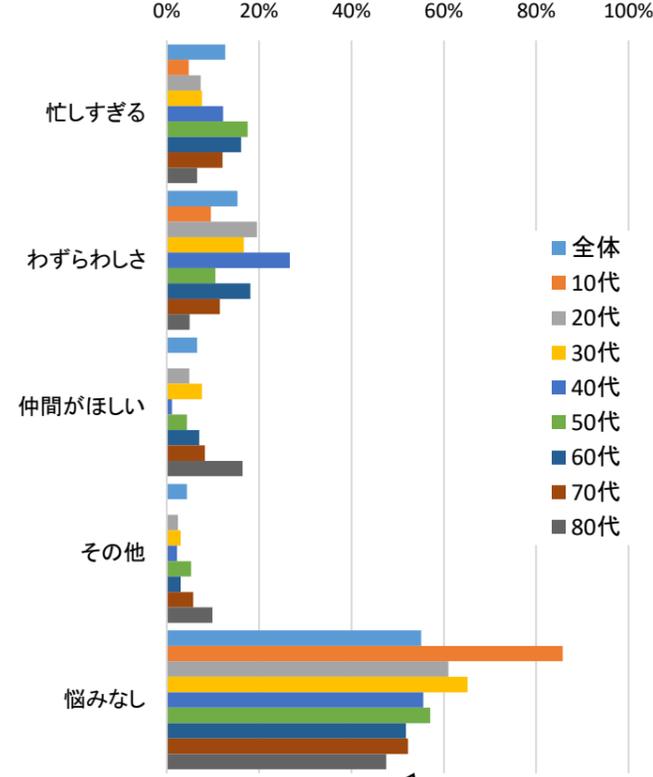


継業への着手は待たなし



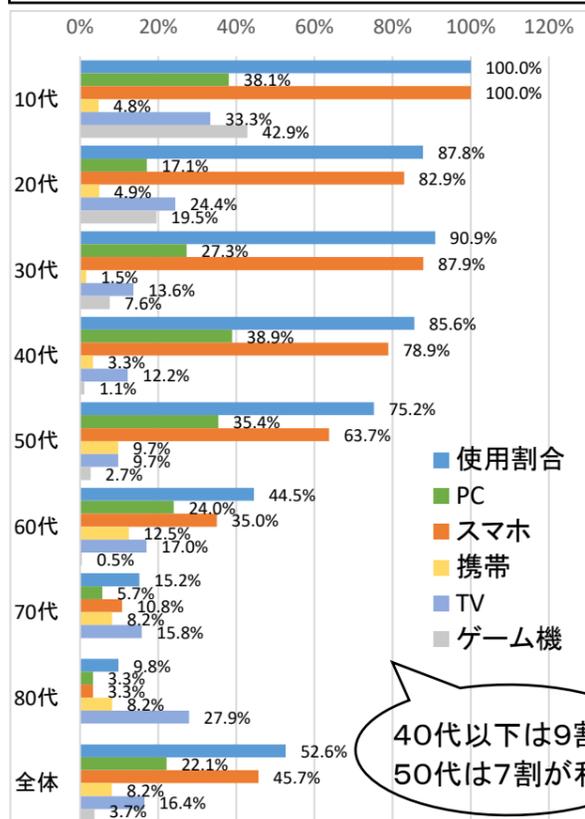
4. アンケート調査の結果

● 近所づきあいについて



近所づきあいについては半数が「悩みなし」

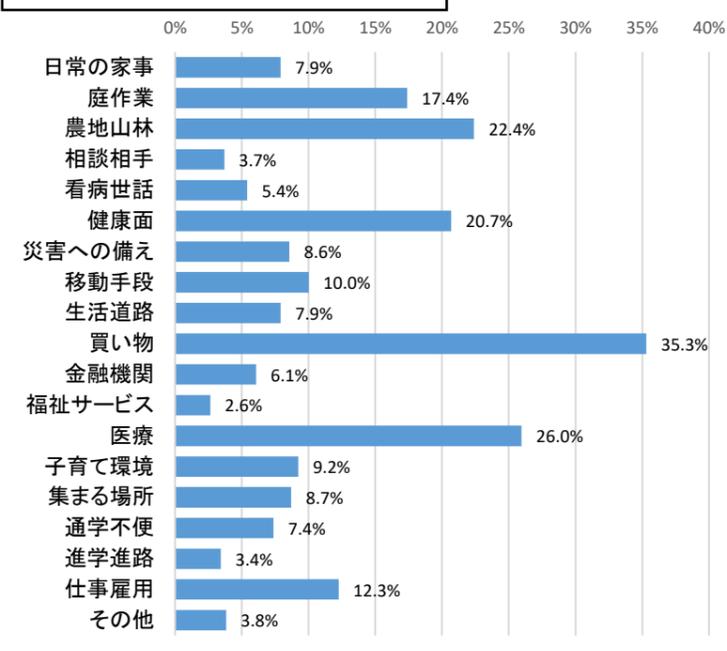
● 回答者のインターネット利用割合比率



大半がスマホ・携帯での利用
50代以下はインターネット経由での情報伝達の方が効果的！

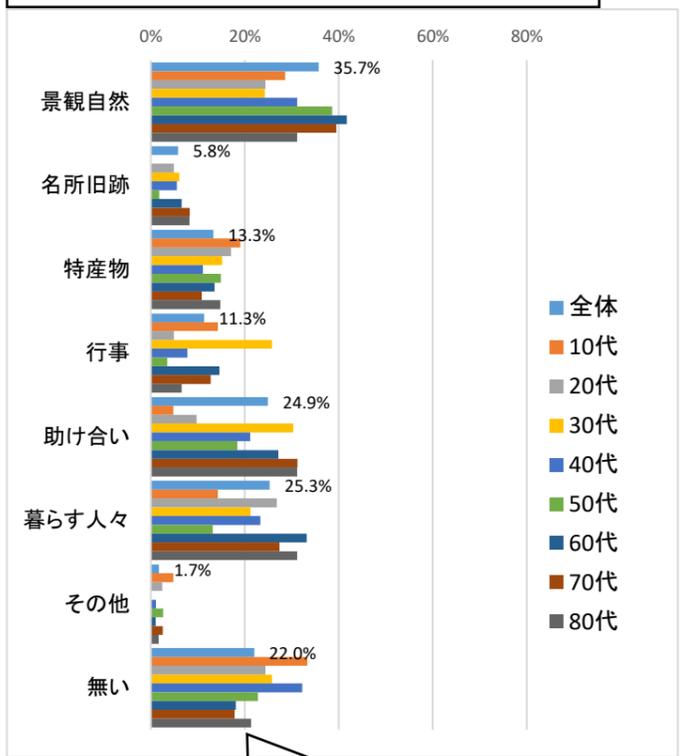
40代以下は9割
50代は7割が利用

● 地域の中の困りごとトップは



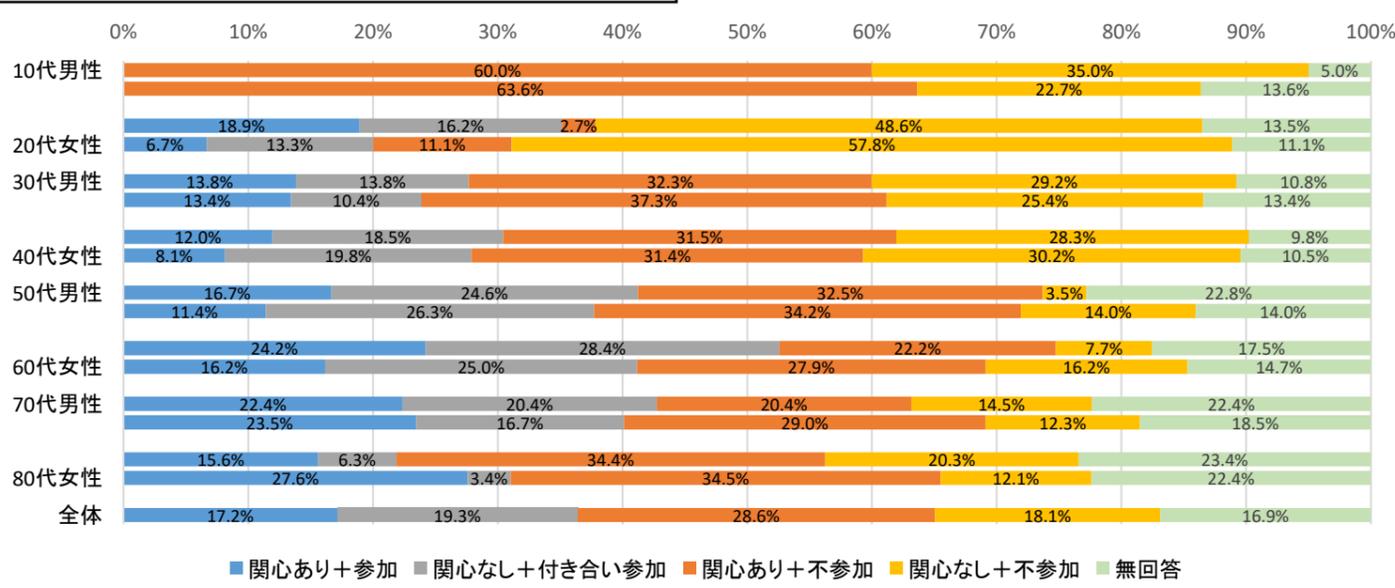
- ① コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便
- ② 医師や小児科が少ないなど、医療体制に不便を感じる
- ③ 農地、山林の維持管理
- ④ 健康面への不安がある
- ⑤ 庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業

● 誇りに思う地域資源は何か



若者～中堅世代は「地域への誇り」が希薄な傾向である

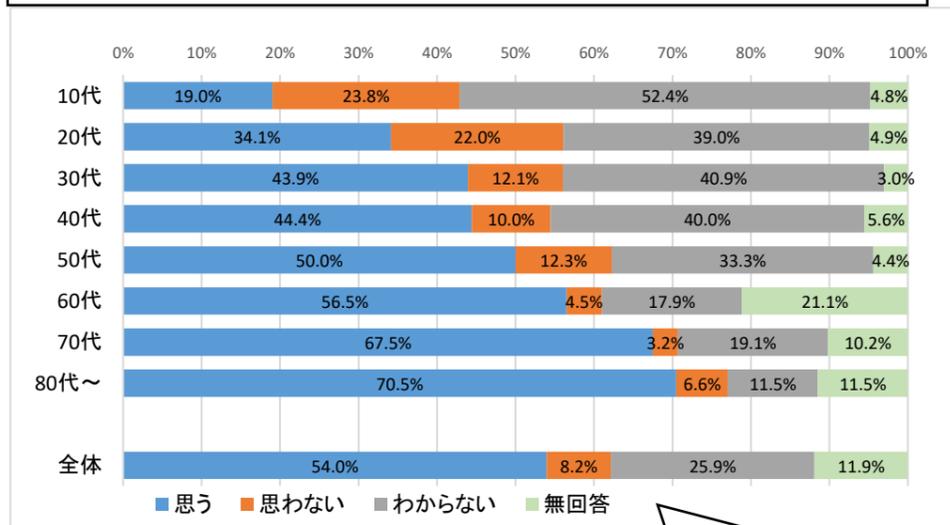
● あなたは地域活動への関心がありますか



必ずしも「地域活動に参加していない＝関心がない」というわけでもない

- ① 男女ともに30代～40代が「関心があるが参加していないの」割合が高い
- ② 「関心あり+不参加」理由の第1位は「余裕がない」。こう回答した60代以下の8割以上がこれを理由にあげている。
- ③ 「関心なし+付き合いで参加」の理由は、第2位に「頼まれた」があがっている。
- ④ 現状は40代～60代の方々が頑張っているので地域活動が回っている。

● あなたは今後もこの地域・集落に住み続けたいと思いますか



地域全体では半数が「住み続けたい」と思っているが40代以下はその割合が地域全体の平均よりも低い

次世代が地域への誇り・愛着を持ち将来への希望を見出せるような地域づくりが不可欠

